

※ 解答は、《解答らん》に書きましょう。

玉木さんたちは、朗読劇の練習に取り組んでいます。次の台本を読んで、あとの問いに答えましょう。

【台本】

〈登場人物等〉

○ソラ 空想好きの少女。

○ベル パソコンの画面に現れ、未来のことを語るキャラクター。

※ナレ 「ナレーター」を省略した言葉。人物のせりふ以外の部分を語る人。

ナレ ある晴れた土曜日、窓辺の机でパソコンに向かっていたソラは、不思議なサイトに
出会う。そこには、やさしい眼差しの科学者風の人物が立っていた。

ソラ だれだろう？ この人……。

ナレ 画面の人物が、にっこりとほほえむ。

ベル こんにちは、ソラ。わたしの名前は、ベル。未来のことを語るために、君のところ
へやってきたんだ。突然だけど、ソラ。窓の外を見てごらん。……何が見えるかな？

ソラ ……山。

ベル 山だけ？

ソラ 空も見える。

ベル どんな空？

ソラ 青い空。

ベル 空の向こうには、何があると思う？

ソラ 宇宙でしょ。

ベル そう、宇宙があるんだよ。ここからは見えないけれど、空の向こうには、広い広い
宇宙が広がっているんだ。君は、宇宙へ行きたいと思ったことがあるかな？

ソラ うん。

ベル それはいつ？

ソラ 今、たった今。おじさんが「広い広い宇宙」って言ったから、どんなところか知り
たくなっちゃった。

ベル そう、うれしいな。じゃ、今から宇宙へ出てみようか。

ソラ えっ、どうやって？

ナレ ベルのやさしい語りかけに、ずんずんと引き込まれていくソラ。

パソコンの中にいたはずのベルの姿が、今は、窓の向こうにある。しかし、ソラは、
この不思議な現象に何の疑問もいだかず、ベルの声を聞きながら、じっと青空を見つ
めている。

ベル ゆっくりと目を閉じてごらん。できるだけゆっくりと……。

ナレ 言われるままに、目を閉じるソラ。



ベル そのままで聞いてよ。……おじさんは残念ながらなれなかったんだ。

ソラ 何に？

ベル ①宇宙人に。

ソラ 宇宙人？

ベル そうさ、宇宙人さ。人間はもうすぐ、宇宙空間で生活するようになる。君たちが大人になって少ししたら、何人もの人たちが、宇宙ステーションへ住み始める。宇宙でくらす人は、立派な宇宙人さ。

ソラ へえー、そうなんだ。宇宙ステーションって、どんなところなの？

ベル コンピュータが人間の命を守る、地球とはちがった世界だよ。
いろいろな国の人たちが集まって、一つの村を作るかもしれない。

ソラ わたしにも住めるかな？

ベル もちろん住めるよ。ステーションでのきまりが守れる人なら、だれだって…。

ナレ 目を閉じたままのソラ。ベルとの会話が楽しく、すっかり宇宙へと旅立った気分になっている。

ソラは、豪華なシャンデリアのような、きらきら光る宇宙ステーションを思いうかべていた。

ソラ きまりって、どんなきまり？

ベル たとえば、宇宙では水が限られているから大切に使うとか、ステーション内の空気をよこさないとか……。

ソラ なーんだ。それくらいのことか。ところで、宇宙って、どうやって行くの？

ベル ロケットがあるじゃないか。日本もきつと、宇宙へ飛ぶロケットを持つようになる。

ソラ そうか、ロケットならすぐに行けるよね。ロケットって、ペットも乗せられるかな？

ナレ ベルとの会話にすっかり夢中になっているソラ。ソラの想像する宇宙空間は、とても広く広い。

ベル 問題なし。知っているかい？ 人類よりも先に、ロケットで宇宙を飛んだ動物を？

ソラ ううん、知らない。

ベル 犬だよ。

ソラ そうなの！ じゃあ、うちのキヤリーも、あつ、ちがった、キヤリーの子どもも、いつしよに行けるんだ。

それとね、おじさん。宇宙ステーションには、海があるのかな？

ベル 海か……。残念だけど、海は造れないと思うよ。

ソラ わたし、海のないところにくらすの、なんだか、ちよつといやだな。

ナレ ここで初めて、さみしそうにつぶやいたソラ。ソラは、海と山に囲まれた美しい村に住む少女だった。

ベル 宇宙ステーションには、地球と同じような自然はないんだよ。でも、チャンスがあれば、君も、君の仲間も、みんな宇宙でくらししてみるべきだよ。宇宙人になってみるべきだよ。

ステーションの窓から、外を見ると、何が見えると思う？

ソラ 星……太陽……

ベル それから？

ソラ 月……

ベル 月と……

ソラ それと、地球。

ナレ 一段と強い調子でソラに問いかけるベル。

ベル その中で一番大きく見えるものは？

ソラ 地球かな？

ベル そう、地球だ。宇宙空間でたった一つ、一つだけ、ミドリとアオにかがやく天体、それが地球だ。

ナレ ベルの「ミドリとアオ」の言葉に反応し、思わず目を開けようとするソラ。

ベル まだ目を開けちゃダメだよ。

西暦二〇三五年、君は、ステーションの広い窓から外をながめている。

となりには、君の愛する人と、宇宙で生まれた君たちの子どもがいる。

ソラ そうか、そのころには結婚しているのか……。

ベル 君たちの前には、何度も何度も見続けている地球がある。

その星は、地球から見ていた月よりも、太陽よりも、ほかのどんな星たちよりも、美しくかがやいている。

ナレ ソラの顔が、これまでに増して明るくなる。ガラス球のように美しい地球の光が、ソラの顔を照らす。

ソラ おじさん、なんだか……。

ナレ 言葉の続かないソラに、たたみかけるように語るベル。

ベル { 地球は、何度見たって、見あきることはない。それどころか、見るたびに美しく、見るたびにいいとおしい。君は思うだろう。地球にしかない自然の、なんとすばらしいこと。地球にしかないミドリとアオの、なんと神秘的なこと。大自然をもつ星は、広い広い宇宙の中で、たった一つだけ。

まだ地球を知らないわが子に、美しいままの地球を見せたいって、人間は、自然をこわしちやいけないって、強く強く思うだろう……。

ソラ おじさん、わたし……

なんだか、なみだが出てきちゃった。

ベル もう、いいよ。ゆつくりと目を開けてごらん。

ナレ 目を開けたソラの前には、パソコンの画面。そこには、笑顔のベルがいる。

ベル どう？ 少しの間だけど、宇宙人になれたかな？

ソラ うん、なれた……。宇宙に行ってきた気がする。おじさん、ありがとう。

ベル もう一度、外を見てごらん。何が見える？

ソラ 空……山……

空も、山も、すごくきれい！ きれいだあ、ほんとに……



【圖 1-1】

- 一 【台本】の——線部①「宇宙人」は、どんな人のことをたどえているのでしょうか。
文中からぬき出して、七字で書きましょう。
- 二 【台本】の「……」には、どんな意味があるでしょうか。次の文の（ ）に当てはまる言葉を書きましょう。
- 朗読をするとき、「……」のところで（ ）。
- 三 ベルを担当することになった玉木さんは、ベルのせりふを何度も読み、【台本】の②「――」の部分で最もリズム感のあるせりふだと考えました。
- 次は、この部分の表現の特徴についてまとめたメモです。

【× 卅】

- ・「地球にしかないの、なんともこと。」という構成の文が連続している。
 - ・ (A)
 - ・ (B)
- リズム感

【メモ】中の（ ） A、Bに当てはまる文を考へ、それぞれ二十五字以上、三十
五字以内にとらめて書きましよう。

シート 30 解答らん

第 学年 組 番 名前

- [illegible]

シート 30 正答例

- 一 宇宙でくらす人
- 二 間を取る、読み急がない など
- 三

例 1 「見るたびに美しく」と「見るたびにいとおしい」が対になっている。(32 字)

例 2 「広い広い」や「強く強く」のように、同じ言葉をくり返し使っている。

(33 字)

※ 例 1、2 と A、B の順番は関係ない。